

セミナー「元気な地場企業に学ぶ」が開催されます。

日本企業の収益性(売上高利益率 ROS)の水準(過去10年間平均)は、3.61%と世界平均6.88%の半分程度とその低さが問題視されてきました。中でも静岡県西部地域は基幹産業低迷の影響を受け、お隣の愛知県では既にリーマンショック以前の水準まで回復してきておりますが当地域は依然低迷が続いております。

私達コンサル集団では、この地域的課題である「収益性の低さは是正」や「成熟社会における経営の在り方」について研究をしてまいりました。

そんな中、元気に活躍されている地元企業様のトップマネジメントを紹介させていただきます。特に経営理念や事業戦略はもとより、それを支える「心のよりどころ」などにも触れて頂き「本当の経営とは!」を紹介して頂こうと思います。多くの気づきや、新たな教えが沢山あると思いますので、経営者の方や、これから事業を引き継がれる方など、経営の最前線に立たれる方にふるってご参加願いたいと思います。 地元のコンサル集団:ベストブレイン浜松より

ふくろい「製造技術」・ 「ものづくり経営」セミナー

2019年1月/15日(火)・22日(火)

主催：袋井商工会議所
静岡県よろず支援拠点

協力：(ベストフレン浜松)

受講料：無料

募集人員：40名

会場：袋井商工会議所 3階会議室

元気な地場企業に学ぶ!

国内の成熟市場の中でも元気に活躍されている地元企業様のトップマネジメントを紹介させていただきます。特に経営理念や事業戦略はもとより、それを支える「心のよりどころ」などにも触れて頂き「本当の経営とは!」を紹介して頂こうと思います。多くの気づきや、新たな教えが沢山あると思いますので、経営者の方や、これから事業を引き継がれる方など、経営の最前線に立たれる方にふるってご参加願いたいと思います。 地元のコンサル集団:ベストフレン浜松より

1.日本で一番大切にしたい会社

2019年1/15(火)

15:00~17:00

**効率も大事ですが、
多様化(変化)は、
会社と従業員を成長させる!**

『効率的に同じものを大量に作り続け、価格競争の中でものがくことが幸せでしょうか。従業員にとってこんなつまらないことはない。だから、スピードとサービスの付加価値にこだわった経営に切り替えたのです。面倒で非効率でも、お客様に時間という価値を提供したい。(沢根社長)』・・・この考えがベースとなって、次から次へと新たな経営方針を打ち出している。「脱下請け」「腹八分経営」「考え、作り、売る」「世界最速工場」「製造小売業」「生涯スケジュール」など、その裏側に込められた想いを語って頂きます。



沢根スプリング株式会社
代表取締役 沢根孝佳氏

- 2002年「日本IT経営支援賞」審査委員長賞特別賞
- 2014年「第4回日本でいちばん大切にしたい会社」中小企業庁官賞
- 2016年「浜松ものづくりマイスター」
- 2018年「はばたく中小企業300社」

西光エンジニアリング株式会社
代表取締役 岡村邦康氏

- 2017年 経営革新計画 優秀賞
- 2016年 BCP特別賞 優秀実践賞
- 2014年 地域産業資源活用計画承認(農水省、経産省)
- 2008年 農商工連携事業計画承認(農水省、経産省)
- 2007年 新連携事業計画承認(経済産業省)



2.経営革新計画優秀賞

**従業員12名の会社が、
日本を代表するイノベーション技術
として認められるまでになった
道のりとは!**

弊社は、マイクロビジネス型の地域企業を目指しています。技術的に先端を走る頭脳的な小集団でありたい、ただ大きくなることをとせず、地域企業に徹し、常にお客様の目的に最適なシステムを提案することを心掛けています。地元産の茶葉乾燥技術者が、2016年の「伊勢志摩G7サミット」で日本で代表するイノベーション技術として紹介して頂けるまでになったのは、弛まない探求心と、地域とのつながり、人とのつながり、だったように思います。そんな話をさせていただきます。

2019年1/22(火)

15:00~17:00

3.地域超密着経営

**「お客様を大事にし、
従業員の幸せを祈り、
地域に貢献する」・・・それだけではなかった・・・そこには、弛まない経営研鑽があった!**



株式会社 たこ満
代表取締役 平松季哲氏

- 2016年 日経スペシャル「カンブリア宮殿」に出演
- 2002年 トヨタ生産方式「TAPS」導入
- 1993年 アメーバー経営システム開始
- 1992年 盛和塾 入塾
- 1989年 日本創造教育研究所 研修開始
- 1988年 SMI成功哲学プログラム導入

カンブリア宮殿で「地域超密着経営」と紹介をされ、経営理念に「身土不二」や「ひとりのお客様の満足と一人の社員の幸せ」を掲げるなど、独自の経営理念を実践されています。

「たこまんの菓子は、ぬるい味(エッジが効いていない)、とがっていない(恰好つけていない)、高価でない(子供からお年寄りまで)・・・それって、とても難しいこと」と村上龍さんを驚かせた。

その裏側には、経営理念、100年・10年ビジョン、2つの目標企業、2つの基本戦略、戦略マトリックス、市場動向とターゲット領域、採算予定表、コアバリュー、周辺バリュー、出店の考え方、など経営思想が目白押しである。こんなところを通して、「成長する企業とは!」を学びたいと思います。